

新規のトリュフ型菌についての一考察

保坂 健太郎* (国立科学博物館 植物研究部 菌類・藻類研究グループ)

1990 年代後半から、きのこ類についても分子系統学的解析が盛んに行われるようになった。その結果、形態的特徴からすでに予想されていたものの、トリュフ型きのこが超多系統であることが明らかとなり、一部の例外を除き、地上生きのきのこが祖先的、地下生菌は派生的な形態であることが判明した。一方で、トリュフ型菌がこれまで認識されていた以上に多様であることもわかってきた。多くの新規系統がみつき、名前が付けられるのはもちろんであるが、既存の属名が細かく細分化され、多数の新属が立てられる傾向にもある。本発表では、スッポンタケ目に属するユニークな形態的特徴をもつトリュフ型菌の系統と新属の提唱 (Mujic et al., 2024) という最新の論文の内容について、系統・分類・命名規約上の課題について考察する。

【発表内での引用文献】

- Asai et al. 2004. *Pseudotulostoma japonicum*, comb. nov. (= *Battarea japonica*), a species of the Eurotiales, Ascomycota. Bulletin of the National Museum of Nature and Science, Series B 30: 1-7.
- Choeyklin et al., 2012. *Octaviania violascens*: a new sequestrate bolete from Thailand. Mycotaxon 120: 149-155.
- Davoodian et al. 2021. Hysterangiales revisited: expanded phylogeny reveals new genera and two new suborders. Fungal Systematics and Evolution 8: 65-80.
- Lebel et al. 2011. The sequestrate genus *Rosbeeva* T. Lebel & Orihara gen. nov. (Boletaceae) from Australasia and Japan: new species and new combinations. Fungal Diversity 52: 49-71.
- Mujic et al. 2024. Rare but widespread: A systematic revision of the truffle-forming genera *Destuntzia* and *Kjeldsenia* and the formation of a new genus, *Hosakaea*. Mycologia, DOI: 10.1080/00275514.2023.2259786